



審判委員会

インストラクター
トレーニングセンター

活動 報告書

2022 (前期)

はじめに

審判委員会 指導者部 部長 内橋克博氏

都道府県主催としては、「全国初」の試みとして兵庫がプラクティカルトレーニング（以下、「PT」と呼ぶ）の開催に踏み切りました。

県内では過去に都市協会トレセンの中やJFAレフェリーキャラバンレガシープログラム内でPTをやってきましたが、こうしてJFA/関西協会監修のカリキュラムの下、計8回（内、関西派遣＝4回、兵庫独自＝4回）の複数回研修を行うこととしました。

初めてづくし、手探り状態での船出となりましたが、兵庫審判指導者のスキルアップ、より試合に近いリアルな状況での実技トレーニングとなる本研修から多くのものを吸収・習得していただき、県下ならびに各都市協会の審判員へ展開できるよう指導して参ります。

以下、前期4回の報告となりますが、本書が審判指導者へのヒントの1つになれば幸いです。

PTとは……

試合の一場面を切り取り、それを繰り返し再現する中で実際のレフェリングと同様の緊張感を持ちながら審判員が監視・判定すべきことを習得する反復トレーニング法

(一社) 関西サッカー協会 審判委員会
インストラクタートレーニングセンター マネージャー

長谷 忠志 氏

都道府県協会の主催によるPTは、兵庫が「全国初」になるかと思っています。ご準備ありがとうございます。

この研修は、人(選手と審判員の確保/審判指導者/運営役員)・物(会議室やグランドの確保)・費用(グランド使用料/会議室料等)が必要となるため、準備に多くの労力と時間が必要です。

それらを踏まえ、企画・立案から開催実現まで漕ぎつかれた兵庫の関係者に敬意と感謝を申し上げます。

PT研修は、試合の一部を切り取り、その場면을再現する練習法で、トライ&エラーを繰り返していく中で、レフェリーやインストラクターの成長を促すことが目的の1つとしてあります。各回失敗を恐れず、チャレンジしてみてください。

(一社) 関西サッカー協会
審判委員会 派遣インストラクター

吉岡 智 氏

関西協会より派遣インストラクターとして、兵庫の方々と一緒に全4回の研修にあたる事となりました。実践型のPTは、どなたがやられても最初から上手いくことは、ほぼありません。事前に考えられたプランニングと実際にフィールドに立って指導した時のギャップに悩む場面もあろうかと思っています。

ただ、失敗から多くの学びがあり、実践を通じてデモンストラクターの動かし方や説明・指導方法を少しずつ習得してください。審判員においては、起こり得るエラーを想定した中で、どう対応すべきかを考えさせ、正しい判定につながるよう研修を通じて一緒に勉強していきましょう。

デザインする

ゲームで起こっている状況を切り出し、習得したいスキルが何度も起こるようにデザインされたトレーニングとする。

審判員に対し実践を通じて 重要なポイントを的確に指導する

- ①目的や目標達成のために求められる的確な指導をする
 - ・指導が目的から外れたり目的自体が複数にならないようにする
 - ・現在の審判員の到達点を把握し目的達成のための目標を示す
 - ・目標達成のための気づきを促す
- ②競技規則上、実技上正しいポイントを示す
 - ・何故正しい判定や判断に繋がったか、そのプロセスを理解する
- ③間違ったポイントを示す
 - ・ミスやエラーを指摘するだけでなく、そこへ至るプロセスを分析する
- ④Recap キーポイントの再確認をしていたか

◆ デモンストレーターへの指導と活用 ◆ (抜粋/要約)

- ・指導の目的+場の設定と条件を理解してもらう。
- ・人数や配置、プレーゾーンの設定やルール、条件を分かりやすく行う。
- ・デモンストレーションは単純明快であること。
- ・同時に多くの違反が起こり過ぎないように。

前期日程と内容

各都市協会のご支援のもと、以下の日程にて前期4回開催することができました。

PT実践におきましては、開催地域のクラブチームや高校サッカー部員にデモンストレーターとして選手役を演じていただきました。

第1回 2022.5.15 於：西宮勤労会館

- ◆PT概要説明
- ◆プランニングシートの作成/発表

第2回 2022.6.18 於：エストパーク

- ◆PT実践
- ◆PT振り返り

第3回 2022.8.20 於：三木防災公園

- ◆PT実践と振り返り
- ◆次回のプランニングシート作成

第4回 2022.9.10 於：HFA明石

- ◆プランニング ブラッシュアップ
- ◆PT実践と振り返り

【講師/指導者】吉岡智氏、渡辺直幹氏、梶山勝弘氏、中村正光氏、内橋克博氏

【受講者】川島陽治氏、佃和広氏、塚本恭一氏、中田英男氏、小河良洋氏、神田哲也氏

9:30



開校式
挨拶

10:00



講義①
プラクティカルとは

11:00



講義②
プランニング

(昼食・休憩)

14:00



講義③
プランニング発表
ディスカッション

16:00



まとめ

第1回 タイムスケジュール

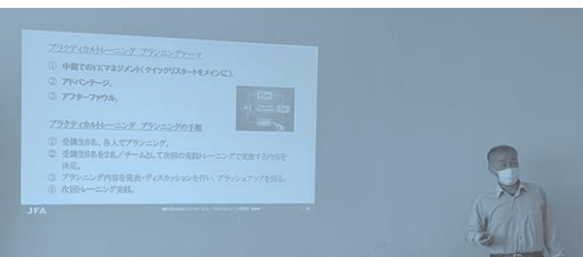
府県主催による全国初の研修開始！

実践型研修のPT第1回目が開催されました。過去に半日程度の研修を受講した方もいたようですが、本格的な物に触れる事が初めてであったため、プランニングシート※の作成自体も難しく感じました。 ※次頁参照

今回は、与えられた各テーマに対し、試合中に起きる状況を作り出す演出に加え、審判員が判定や動き方にエラーやミスがあった際に的確に指導を行えるよう準備しました。



01. 長谷氏、吉岡氏の他に関西イントレでPTを学ばれてきた我々の先輩にもあたる兵庫所属の中村氏、渡辺氏からも研修の目的と激励の挨拶がありました。



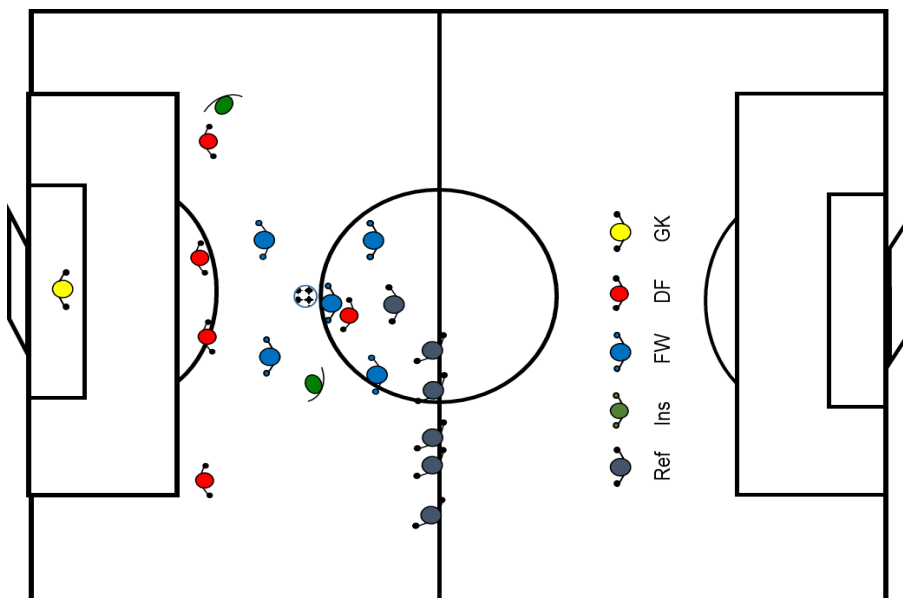
02. PTの概要と目的の説明から始まり、実践形式での審判員指導方法をまずは座学にて習得しました。吉岡講師からも「失敗を恐れず、自分が考えた物を発表してください。」との発言が。



03. 受講者が2人1組となり、各テーマが与えられました。これを基に試合中に起こる状況を切り出し、習得したいスキルが何度も起こるようにデザイン（プランニング）していきましました。

【プランニングテーマ】 1班＝中盤でのFKマネージメント、2班＝アドバンテージ、3班＝アフターファウルとし、選手への説明・仕込み10分、実践20分でプランニング

プランニングシート（一例）



スターティングポジション

テーマ①-1 : ②ゴール前のFKマネジメント

目的・狙い

1. 得点に関わる位置であるため、監視すべき点と実行する点について理解させる
2. クイックリスタートの保証も考慮しつつ、セレモニーに移行、キック完了、その後のフォローまでの流れを理解し、スムーズに進行できるよう指導する

●主審の監視すべきこと

- ・ファウルのあった地点
- ・ボールの静止
- ・ボールならびに競技者間の距離 **9.15m**
- ・壁周辺でのいざこざ（反則行為の有無）※味方競技者も壁から**1m**離れる
- ・キック完了（ゴールまたはGKキャッチ、ゴールラインアウト）まで
- ・壁の枚数

●副審が監視すべきこと

- ・競技者の位置（オフサイドラインキープ）
- ・インパクトした瞬間の競技者の位置と数
- ・GKの視線を遮る行為の有無
- ・ゴールラインへの意識（ゴールイン、ラインアウト、ワンタッチの有無）
- ・壁内での反則行為の有無（主審の死角となりうる場所の監視）
（審判員が少ないので、副審はつけない）

●デモンストレーターへの具体的な指導内容（FW5 vs DF5+GK1）

- ・最初のファウルは分かり易く簡単に ※DFがFWの肩に触れた時にファウルとみなす
- ・攻撃側はまずはクイックリスタートを試みる
- ・守備側は壁を作る準備を行う
- ・攻撃側は必ず蹴って終了（できれば数回はゴールインして欲しい）

<守備側>

- ・壁の距離を守らない、または、飛び出す
- ・再開位置に意図的立ちボールの前から離れない
- ・ボールを手で持ち、離さない
- ・声で主審を惑わす
- ・笛が鳴ってからボールを意図的に大きく蹴り出す

<攻撃側>

- ・壁から**1m**以内に位置取る
- ・守備側競技者にボールをぶつける（ように素早く再開）
- ・再開位置と違うポイント、位置から再開しようとする。
- ・自分でボールを持ってきて置くが位置が2m程度違うところから始めようとする
- ・ボールを静止しないで蹴る、蹴ろうとする。

Ins名(*****) 実施日(2022.08.**)

9:30

講義①
前回の振り返り

10:00

講義②
PTのプランニング

(昼食・休憩)

13:00

実技

PT実践・グラウンド移動
1チーム/40分 @ 3チーム
デモンストレーター；飾磨高校サッカー部
仕込み:10分、実践:20分
(1セッション30~40分)

15:00

講義③
プラクティカル実践と振り返り

講義④
プランニング

16:30

まとめ

第2回 タイムスケジュール

フィールド上での実践スタート！

午前中は、プランを立てた内容をフィールドシート（写真1番上を参照）上で駒を動かしながら再現し、“どのような事をするのか”を情報共有しました。

午後からグラウンドに出て、その内容や動き方（ファウルの仕方）をデモンストレーターとなる飾磨高校サッカー部員に説明し、選手役を演じていただきました。

試合形式で行われた実践トレーニングでしたが、想定したファウルをうまく体現できなかった事もあって、審判員も若干戸惑いながら判定する場面が散見されました。



01. 第1回午後のパートで構築したプランを各組ごとに発表し、ブラッシュアップを図りました。受講者や講師からも多くの意見や考えが飛び交い、目的意識を高めた上で実践に臨みました。



02. いよいよ初めての実践。まずは選手役へPTの目的と説明を行い、実際にファウルをしてもらうよう声を掛けながら指導しました。審判員には動き方や判定について、指導と気づきを促しました。



03. 順番に3テーマを実施しましたが、ファウル自体がうまく誘発できない状況のまま時間が経過してしまった感は否めません。もっとデモンストレーターへの確かな指示を出す必要があり、この部分は全員の課題であると強く認識する事が出来ました。

9:30

講義①

プランニング グループ討議

10:00

講義②

PTのプランニングおよび
ブラッシュアップ

【プランニングテーマ】

1班=中盤でのFKマネジメント

2班=アドバンテージ

3班=アフターファウル

(昼食・休憩)

13:00

実技

PT実践・フットサルコートへ移動

1チーム/40分 @ 3チーム

デモンストレーター；Mセリオ(U-15)

仕込み:10分、実践:20分

(1セッション30~40分)

15:00

講義③

プラクティカル実践と振り返り

講義④

プランニング

16:30

まとめ

第3回 タイムスケジュール

試行錯誤とトライ&エラー

前回同様、午前中にプランニングならびにブラッシュアップを行い、午後からフットサルコートにてスモールPTの実践へと移りました。

今回は2回目の実演となる事から過去の課題点を見直し、対策案を練った結果、デモンストレーターへの指示/説明も以前と比較してスムーズに行え、且つトレーニング回数を多く持つことが出来ました。ですが、まだまだ反省材料は山積しており、トライ&エラーを繰り返しながら成長していく他ありません。



01. フィールドシート上で動きを確認。何を目的に、誰を何処にどう配置するか、どう動かすのか、どんなエラーが起こりえるのか、その際のアドバイスは。試行錯誤は続いていく…。



02. 一番大事とも言えるデモンストレーターへの説明。選手役のパフォーマンスによって審判員の判定が変わり指導にも影響が。ここは腕の見せ所でもある。



03. ファウルが起こる前・中・後の処理について、審判員にその場で正誤を伝えると同時に動き方や監視すべき点、留意事項なども聞き出す。良い所は誉め、改善点があれば即時助言する。



04. 終わった後は、審判員から感想や質問を聞き、最後にまとめやおさらいをする事で、テーマへの理解をより一層深めました。

10:30

講義①
PTプランニング

11:20

講義②
プランニングのブラッシュアップ

(昼食・休憩)

13:00

実技

PT実践・・グラウンドへ移動
1チーム/40分 @ 3チーム
デモンストレーター:明石商業高校サッカー部
仕込み:10分、実践:20分
(1セッション30~40分)

15:00

講義③
プラクティカル実践と振り返り

講義④
プランニング

16:30

まとめ

第4回 タイムスケジュール

受講者は、どこまでできたのか？

全8回の折り返しとなる地点。プランニングにもこれまで習得したきた内容・要素を組み入れ、より深く考察されたPT案が完成しました。

実践では、時間管理において導入説明からまとめまでの30分を遵守でき、トレーニング回数も増えてきました。講師からは細かな部分での指摘はありましたが、デモンストレーターと審判員が過去回よりも生き生きとした表情で活動されていた事は、一定の成果が出た証であると感じました。



01. 各テーマをもとに選手の動き方と審判員の監視すべき事柄について、シートを利用して説明します。他班から改善点や疑問点を挙げてもらい、実践前にそれらを修正し実技に備えました。



02. 選手役への説明も上達し、プラン通りに進めることがある程度出来るようになりました。実践回数確保も必要なことから審判員への指導に関しては、行き届いていない場面も…。



03. 選手役の頑張りに賛辞や鼓舞する事も研修の中の1つ。試合さながらの熱演に審判員も正しい判定で応えなければならない事もPTの醍醐味と言えよう。



まとめ

うまく行かない事の連続でした。実際にやってみて、企画(プラン)していたものと実践(トレーニング)とのギャップがあり過ぎて最初は戸惑う場面もありましたが、回を重ねるごとに少しずつ改善していき、選手への演出指導と審判員への気づき・助言・指導もできるようになってきました。これも講師のご指導のお陰です。

最後になりますが、会場ならびにデモンストレーター(選手)の確保に動いてくださった開催都市協会のご支援に改めて感謝申し上げますとともに、チーム関係者の皆様にも厚くお礼申し上げます。

